

中国訪問団の派遣

福建省・遼寧省人民政府を表敬訪問

当協会は、11月9日から14日にかけて、福建省と遼寧省に高校生3名を含む11名の訪問団（団長 田中誉士夫名誉顧問）を派遣した。高校生は県立総合高校の2名と横浜隼人高校の1名。福建省では同省人民政府等を表敬訪問したほか、20世紀初頭外国列強の共同租界地であった廈門市内のコロンス島や華安県内の世界遺産の土楼、福州市内の古い町並みが残る三坊七巷を見学。土楼では田中団長と高校生が地元テレビ局の取



世界遺産 華安県土楼「二宜楼」にて

材を受け、高校生は「見聞したことを学校の友達に伝えたい」などと話していた。遼寧省では瀋陽日本総領事館を表敬訪問。大澤勉総領事からは日中関係について瀋陽市などの対応が少しずつ変わってきていることや、日本への旅行ビザが10月末までで前年の1.5倍にもなっていること、現地では日本の環境技術や医療介護などに関心が高まっていることなどが話された。また、訪問団は遼寧省人民政府をはじめ中国人民政



土楼の中庭にて 地元テレビ局の取材

府政治協商会議遼寧省委員会、遼寧省中日友好協会を表敬訪問したほか、清朝の離宮であった世界遺産の瀋陽故宮などを見学した。

盛り上がった

高校生交流

13日には協会主催の「遼寧省高校生日本語スピーチコンテスト」が東北育才外国語学校で開催された。コンテストには10名の生徒が参加。いずれの生徒も堂々とスピーチし、審査員による日本語での質問にも的確に答えていた。コンテストの後は、同校150名の高校生との交流会が開かれた。



日本の歌を合唱 東北育才外国語学校にて

日本の高校生は中国語で自己紹介。日本のラジオ体操を紹介し会場全員で行うと、会場はリラックスムード一杯に。さらに、中国語や日本語などで好きな歌手や志望大学などを質問し合い、最後は日本のジャニーズグループの歌を全員で合唱。会場は高校生交流で大いに盛り上がった。学校を去るに当たり、高校生は口々に「楽しかった」「もう少し交流をしていたかった」と話していた。



盛り上がったコンテスト会場

- 11月9日（月）
成田↓福建省廈門へ
廈門着後、コロンス島見学
廈門市人民政府表敬
- 11月10日（火）
華安県土楼「二宜楼」見学
華安県人民政府表敬
専用車にて福州へ
福建省人民政府表敬
- 11月11日（水）
福州三坊七巷見学
空路瀋陽へ移動
遼寧省人民政府表敬
- 11月12日（木）
空路瀋陽の途へ
- 11月13日（金）
瀋陽日本総領事館表敬
瀋陽故宮等市内見学
- 11月14日（土）
空路帰国の途へ
瀋陽↓成田へ